

特別支援教育

目 標

特別支援が必要な子どもに対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その子の持つ力を高め、生活や学習で困難を改善し克服するために、適切な指導や教育を通じて必要な支援を行うこと。

学習面や行動面で特別な教育的支援が必要な子どもに、早期に気づき、実態把握を行い、学級担任の指導への支援をする。

努力点

特別支援が必要な子どもへの支援、状況について、校内の教職員が共通理解できるようにする。

「LD・ADHD・高機能自閉症への理解」の研修をできるだけ多くとり、専門的知識や理解を深める。

具体目標

保護者や関係機関および校内関係者が、具体的支援について話し合う。

学期ごとに支援の内容や方法について話し合い、必要に応じて反省し、見直しをする。また、職員会議で報告する。

特別な支援を要する子への取り組みの方向

担任による個別的配慮

- ・大事にされている実感を持たせる。
- ・指導法のユニバーサルデザイン（どの子にも、より理解しやすい指導法）
 - ア 言葉を確実に届ける
 - イ 見通しを持たせる
 - ウ 分かりやすく、覚えやすく
- ・教室環境の整備と過敏性への配慮
- ・みんなで遊ぶ楽しさを教える。

補助者が加わった個別支援

- ・子どもに何をさせるのか明確な課題を持って、担任と補助者との連携を密に寄り添いつつ課題に誘う。
- ・「できた」体験を積ませる。

別室（チャレンジ教室など）での個別支援・・・学び、（心の安定）、個別支援

特別支援教育の体制

